

# 家族の治まりの思案

多様性を重んじる社会の中で、夫婦や家族のあり方が変化する現代社会です。単身世帯の増加により、おひとりさまという生活スタイルが注目され、未婚率や離婚率が増加する中で少子化が進みます。さらにパートナーという考え方から新しい家族の景色も生まれています。

時代と共に変化する家族の様相を受け止めながらも、家族が治まっていくためには欠かすことのできない親神様の教えを求め、教会やようぼく家庭ならではの家族の姿を見つめ、陽気ぐらしに向かう家族の治まりを思案します。

立教187年(令和6年)

3月25日(月)

「陽気ホール」おやさとやかた  
南右第二棟

申込締切  
3/4(月)

午後1時～4時15分  
開場＝午後12時30分

定員＝300名  
定員になり次第締め切り

参加費＝無料



## I部 講演 (13:15～14:15)

講師

中山 慶純 氏

●なかやま・よしずみ＝本部長、おたすけ掛主任。

本部直属あきよ志分教会前会長。

修養科主任時代の朝礼での挨拶や各所での講話を元に、『朝の信仰読本—こころ澄ます教話集』(道友社)を執筆。

## II部 分科会 (14:35～16:15)

●分科会のみ参加はできません。

- ①「共依存」～お世話する側がおちいる病～
- ②いきいき百歳体操の紹介と活用事例
- ③発達障害への寄り添い
- ④うつを支える～家族・おたすけの立場で～

※詳細は「分科会について」をご覧ください

## 申込方法について ※代表一人での申し込みはできません(個別申込のみ)

参加ご希望の方は、氏名(ふりがな)、〒/住所、電話番号、分科会名(希望する分科会の番号を第3希望まで必ず記入)を明記して、ハガキ、FAX、メールまたは、ホームページから3月4日(月)までにお申し込みください。申込締め切り後、3月中旬頃に決定した「分科会名」と「受講方法」のご案内をお送りいたします。

## 分科会について

●分科会は、以下の4つのテーマで同時刻に開催されます。いずれかの分科会を選んでお申し込みください。

### 1 「共依存」～お世話する側がおちいる病～

依存症者の家族がおちいりやすい共依存は、熱心なおたすけ人も要注意です。そのメカニズムを学びます。

【内容】共依存の基本講座、パネルディスカッション

【講師】鈴木顕太郎氏

(東濃名分教会前会長、ひのきしんスクール研究員、「依存症たすけあいの会」代表)

### 2 いきいき百歳体操の紹介と活用事例

高齢者の介護予防として各地域で開催されている「いきいき百歳体操」を、教会での活用事例を交えて紹介します。

【内容】講義「いきいき百歳体操の紹介と活用事例」、実演・体験

【講師】中村靖男氏

(巣鴨分教会長、ひのきしんスクール運営委員、社会福祉士、地域包括支援センター長)

### 3 発達障害への寄り添い

正しく理解し適切な対応をしていけば、発達障害の方へ寄り添うことができます。現場の事例を紹介しながら、質疑応答をします。

【内容】おたすけ現場での事例紹介、質疑応答

【講師】白熊繁一氏(中千住分教会前会長、ひのきしんスクール運営委員)

辻 真一氏(甲京分教会長、ひのきしんスクール運営委員)

### 4 うつを支える～家族・おたすけの立場で～

うつ状態は、本人のみならず家族やおたすけ人にとっても辛いものです。その悩み、苦しみの理解を深め、参加者同士で分かち合う場となることを目指します。

【内容】講演、グループでの話し合い

【講師】廣岡文衛氏(美唄分教会長)



ひのきしんスクール 検索

▼ホームページ  
QRコード



ひのきしんスクール事務局  
(布教部社会福祉課内)

〒632-8501 天理市三島町 1-1  
TEL 0743-63-2314 FAX 0743-63-7266  
Eメール h-sc@tenrikyo.jp